

# シェル コレナS3 RJをお薦めする理由!

## 油温低下・低スラッジで 長寿命な圧縮機油



高引火点・合成油系の

「コレナS3 RJ 32 (可燃性液体類)」で

回転式コンプレッサーの

故障頻度の低減・機械保護をご提案します!

昭和シェル石油のご提案

### 理由

## 1. コレナS3 RJは低密度なXHVI®基油使用

油種	コレナ S3 RJ 32	他社鉱物油系 圧縮機油 32
密度 (15°C g/cm <sup>3</sup> )	0.828	0.844
色	L0.5	L0.5
動粘度40°C (mm <sup>2</sup> /s)	32	32.8
動粘度100°C (mm <sup>2</sup> /s)	6.1	6.0
粘度指数	140	131
引火点(°C)	262*	244
流動点(°C)	-40.0	-25

### XHVI®とは

- ・ 合成
- ・ 低密度
- ・ 高粘度指数
- ・ 低硫黄分

といった性状を持つ潤滑油の基油の名称。多くのお客様の機械保護に役立っています。

\* 高引火点  
= 可燃性液体類

## 2. 低密度 = 油温に影響します

### 密度が低い

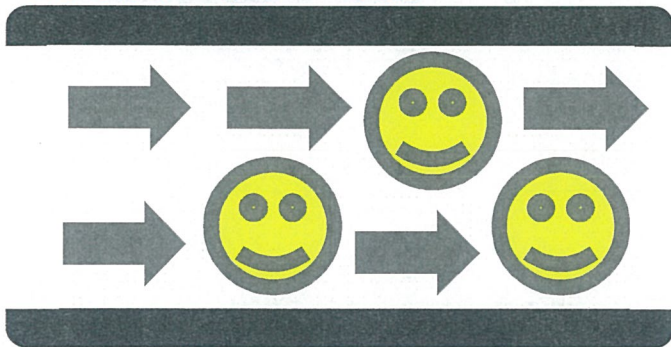
⇒配管抵抗が小

⇒エネルギーロス(熱・音・振動)が小

⇒発熱を抑制

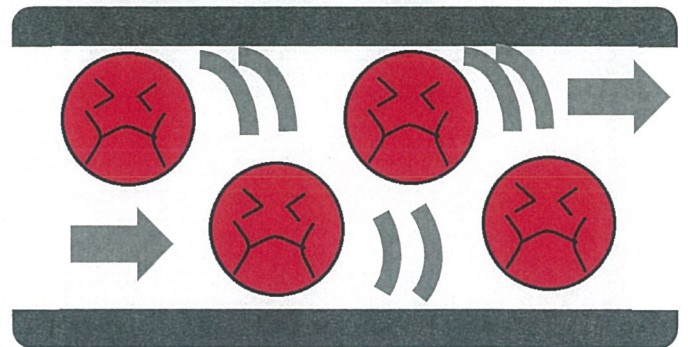
### 油が配管を流れるイメージ

#### 【密度の低い油】



スムーズに流れます

#### 【密度の高い油】



### ■ 実例

- ・ M社圧縮機, 純正オイルを使用
- ・ 6,000 h で必ず故障していた

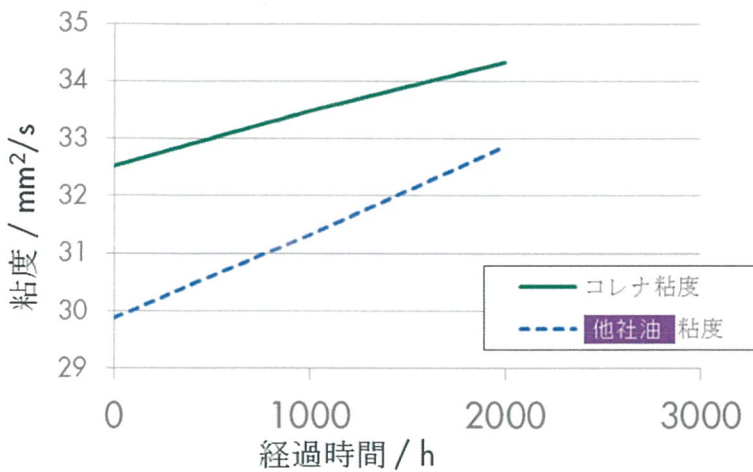
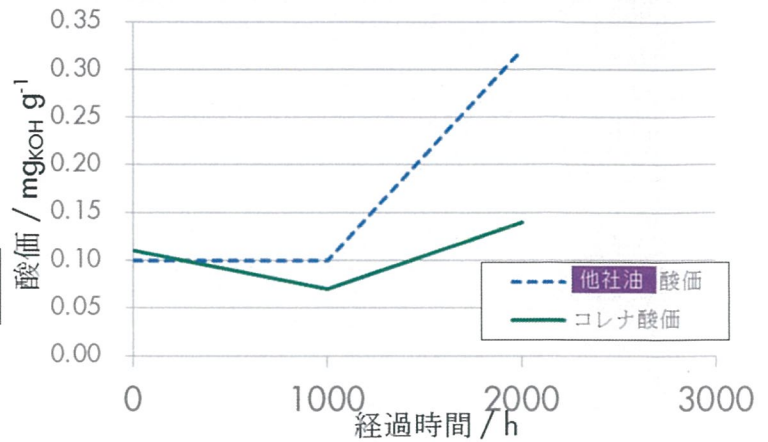
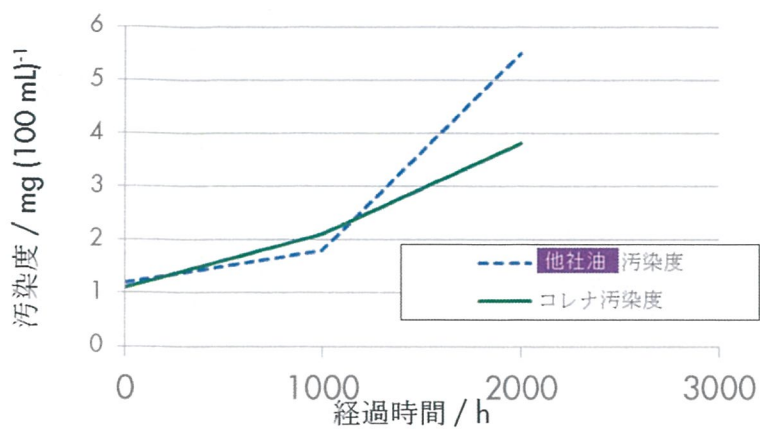


99 °C (夏場)

91 °C (冬場)

- ・ 油温のアラーム値を超えなくなった
- ・ 6,000 h 以上 継続使用しても故障がなくなった

### 3. 低スラッジ: 故障を低減, メンテを最小化



## ← 実例

Hi社製 150 kWコンプレッサ  
油性状の経時変化

## 試験例 →

高温長時間の加速劣化試験後  
「ISOT」165.5 °C, 24 h保持

放置後の瓶を裏返すと・・・

低スラッジで……

- ・メンテナンス低減
  - ・機械寿命延長
- でお客様に貢献!!

